

愛媛県立川之江高等学校 令和7年度 シラバス

教 科	外国語	科 目	論理・表現 I
単 位 数	2 単位	学年・類型	第1 学年・全クラス
使用教科書	MY WAY Logic and Expression I (三省堂)		
補助教材等	第一学習社『ZOOM ズーム総合英語 THIRD EDITION』		

1 学習目標

日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ち、意見や主張などを口頭で伝え合ったり発表したり、また文章を書いて伝えることができるようにします。

2 学習方法

- モデル文の内容を理解し、関連する重要表現を学ぶことによって、実際のコミュニケーションにつなげる練習をします。
- 基本的な文法事項について、例文を通して理解を深め、練習問題の演習によって応用力を身につけます。
- 様々なタイプの自己表現活動を通して、口頭や文章で表現する練習をします。

3 学習評価

(1) 評価の観点の趣旨と方法

観点 \ 評価	評 価 の 観 点 の 趣 旨	評 価 の 方 法
知識・技能	・英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働き、及び論理の構成や展開、情報や考えなどを効果的に伝える表現について理解を深めている。 ・実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて、知識を適切に活用できる。	○定期考査・小テストの成績 ○言語活動への取り組み状況 ○パフォーマンステストの成績
思考・判断・表現	・情報を整理しながら考えなどを形成し、論理的に適切な英語で表現して伝え合ったり発表したり、また文章を書いて伝えることができる。	○定期考査・小テストの成績 ○言語活動への取り組み状況 ○パフォーマンステストの成績
主体的に学習に取り組む態度	・英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手に配慮しながら、主体的、自立的に表現活動を行おうとしている。	○言語活動への取り組み状況 ○課題の提出状況

(2) 各学期及び学年末の評価

各学期の評価は、授業での学習活動に取り組む態度、課題の提出状況、定期考査・小テスト・パフォーマンステストの成績などを総合して行います。学年末の評価は各学期の成績を平均することにより行います。

4 学習のポイント

- 授業の内容をしっかりと理解し、練習や復習を通して定着させていきましょう。
- 言語活動では間違いを恐れず積極的に取り組みましょう。
- 基本的な文法に習熟することがすべての言語活動の基盤になります。しっかり取り組みましょう。
- 授業以外でも、NHKラジオ講座等を活用して、毎日少しずつ継続して英語力の向上に努めましょう。

5 学習計画（予定）

月	学習項目	学習のねらい・学習活動
4	Lesson 1 Part 1	・ be 動詞の現在形や学校内の場所を表す表現、基本的な挨拶の表現等を用いて、学校内の場所について尋ねたり、初対面の挨拶ができるようにします。
	Part 2	・ 一般動詞の現在形や自分の気持ちや考えを表すための基本的な表現等を用いて、自分自身のことについて発表できるようにします。
5	Lesson 2 Part 1	・ 動詞の過去形や教科を表す表現等を用いて、好きだった教科について事実や自分の考え、気持ちを伝え合うことができるようにします。
6	Part 2	・ 現在進行形、過去進行形や部活動を説明する表現等を用いて、部活動について事実や自分の考え、気持ちを整理して書けるようにします。
	Lesson 3 Part 1	・ 未来表現やイベントを説明する表現等を用いて、週末の予定について事実や自分の考え、気持ちを伝え合うことができるようにします。
7	Part 2	・ 基本時制や趣味、物事などを説明する表現等を用いて、週末の予定について事実や自分の考え、気持ちを伝え合うことができるようにします。
8	Lesson 4 Part 1	・ 現在完了形（完了、経験）や料理のメニューを表す表現等を用いて、注文したい料理について事実や自分の考えなどを伝えることができるようにします。
9	Part 2	・ 現在完了形（継続）、現在完了進行形や食べ物を表す表現等を用いて、日本の食文化について事実や自分の考え、気持ちを整理して書けるようにします。
	Lesson 5 Part 1	・ 助動詞や道案内の表現等を用いて、観光の目的地について事実や自分の考え、気持ちを伝え合うことができるようにします。
10	Part 2	・ 受動態や地域の特産品を表す表現等を用いて、地域の特徴やマスコットキャラクターについて事実や自分の考えなどを整理して発表できるようにします。
	Lesson 6 Part 1	・ 不定詞（名詞・形容詞的用法）やおみやげを表す表現等を用いて、買いたいおみやげについて事実や自分の考えなどを伝え合うことができるようにします。
	Part 2	・ 不定詞（副詞的用法）や旅行の楽しみを表す表現等を用いて、旅行での出来事について事実や自分の考え、気持ちを整理して書けるようにします。
11	Lesson 7 Part 1	・ 動名詞やスポーツの動作を説明する表現等を用いて、スポーツの試合について、事実などを伝え合うことができるようにします。
	Part 2	・ 分詞による後置修飾、分詞構文やスポーツの動作を表す表現等を用いて、車いす競技について事実や自分の考えなどを整理して発表できるようにします。
12	Lesson 8 Part 1	・ 比較（比較級）や紙の本と電子書籍の特徴を表す表現等を用いて、紙の本と電子書籍の良さについて事実や自分の考えを伝えることができるようにします。
	Part 2	・ 比較（最上級、同等比較）や趣味、科学技術製品を説明する表現等を用いて、科学技術製品について事実や自分の考えなどを整理して書けるようにします。
1	Lesson 9 Part 1	・ 関係代名詞（主格、目的格）や体調を表す表現等を用いて、身体の具合について事実などを伝え合うことができるようにします。
	Part 2	・ 関係代名詞（目的格の省略）や健康管理を表す表現等を用いて、健康について事実や自分の考え、気持ちを整理して発表できるようにします。
2	Lesson 10 Part 1	・ 関係副詞や社会問題を説明する表現等を用いて、SDG s について事実や自分の考え、気持ちを伝え合うことができるようにします。
3	Part 2	・ 仮定法や社会問題の解決に役立つことを説明する表現等を用いて、SDG s について事実や自分の考え、気持ちを整理して書けるようにします。